

県内企業向けAI・ICT入門セミナー

今なぜAI・ICTの活用が求められるのか

2019年7月24日（水）14：00～15:30 TECH BEAT Shizuoka会場内

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」10F 1001-2会議室

対象：AI・ICTに関心はあるが、今後の進め方やICTの知見をもつ人材の確保に悩んでいる方

講演「AI・ICTの活用が求められる背景」 60分



六井 淳

静岡県立大学

経営情報学部経営情報学科

経営情報イノベーション研究科 准教授

島根大学総合情報処理センター副センター長等を経て2018年10月より現職。島根では、企業と学生を対象とした機械学習の勉強会や、合宿形式の研修等を通じて多数の高度ICT人材を育成。専門は知能情報処理、人工知能、機械学習 等。

第四次産業革命を迎え、AI等ICTの活用が必須の社会情勢となっております。AI・ICTの活用について悩まれている企業の皆様へ向けて、なぜAI・ICTの活用が必要なのか、社会実装が進んでいる分野の状況とともに説明致します。また、講演を通じて、自社内に求められる人材やスキルについても考えていただける内容となっております。

県内企業による事例紹介 30分

※TECH BEAT Shizuoka（7/24-25@グランシップ）と同時開催

最新のテクノロジーをもつスタートアップがグランシップに集まり、県内企業とのビジネスマッチングの創出を目指します。当日はスタートアップ企業や県内企業による展示や、講演、ショートプレゼン等が開催され、ICTに関する最先端を体感いただけるイベントとなっております。

I nformation and C ommunication T echnology とは？

情報通信技術

パソコン、スマートフォン等コンピュータを使った情報処理技術の総称。2000年代はコンピュータによって、かつて手作業で行ってきた事務処理が効率化されました。2010年代に入ると、設備や商品、環境等のデータを使って品質改善、生産性向上が行われるようになりました。

そして2010年代の終わりを迎えた現在は、効率化や生産性向上など既存ビジネスの課題解決だけでなく、新しいビジネスを生み出すための要素技術となっています。

A rtificial I ntelligence とは？

人工知能

様々な定義がありますが、知的な活動（大量のデータを参考に、判断や推測など）を行うシステムや技術を意味します。例えばこれまで目検で不良品の確認をしていましたが、AIを活用して画像から素早く自動的に不良品を検出できるシステムなどがあります。ただしマンガにでてくるような意思をもったAIは登場していません。

入場無料

お申込み方法

セミナーへの参加には、「TECH BEAT Shizuoka」に来場者登録が必要です。（参加には1人1カウントの登録が必要です。）

- ① <https://techbeat.jp/> へアクセス。
- ② サイトロゴ  下「申込みフォーム」をクリック。
- ③ 来場者情報を入力の上、「セッション申し込み」にて「10F会議室」列の中ほどにある本セミナーを選択。
- ④ 申し込み情報を確認の上完了。



会場へのアクセス

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」10F 1001-2会議室

JR

静岡駅から上り方面、東静岡駅下車。南口からメインエントランスまで徒歩3分。

静岡鉄道

長沼駅下車、JR東静岡駅コンコース通過、南口出口まで徒歩約7分、メインエントランスまで徒歩3分

静鉄バス

（日本平線、県立美術館線）静岡駅前から約10分、東静岡駅南口下車、メインエントランスまで徒歩3分